

■アヒル・スポット図

図1のようにボックスの上面には、対角線に沿って白色の養生テープを貼り、その交点が中央に位置するようにする。

図2のようにアヒルオブジェクトは $300 \times 300 \times 300$ のボックスの上に設置する。

オブジェクトは、テープが重なっているところが完全に隠れるように置く。

フィールド上では図3のような向きで置かれる。



図 1

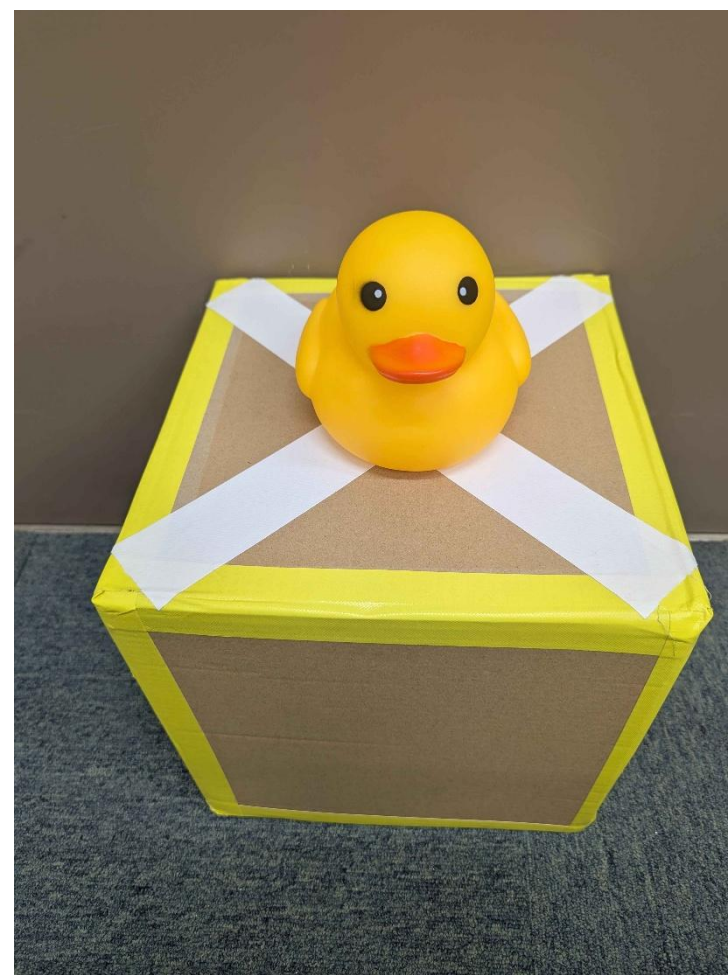


図 2

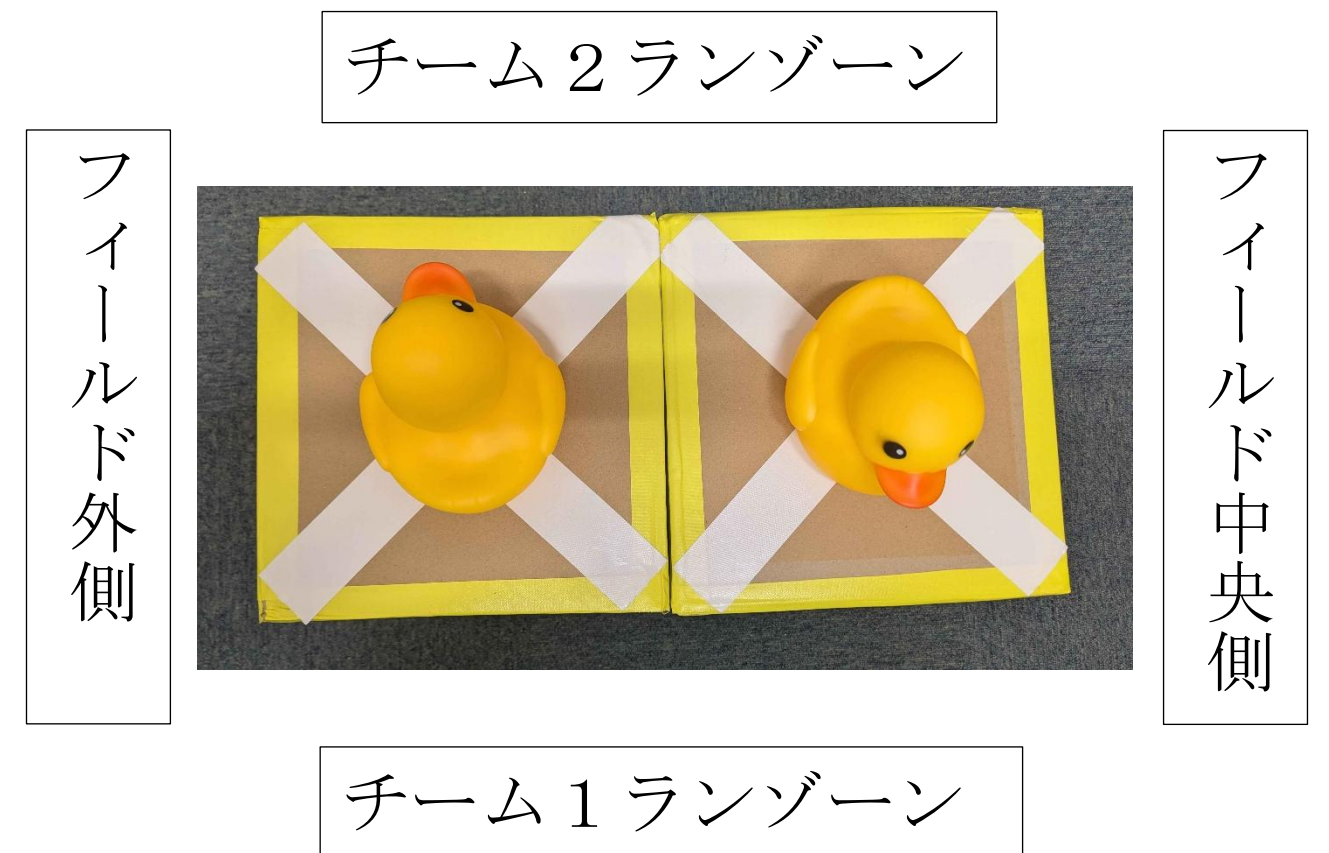


図 3

■ペットボトル・スポット図

図4のように、フィールド図のオブジェクトの中心位置に、50 mm × 50 mm の黒いテープを貼る。
次に、図5のように、オブジェクトリングが黒いテープに触れないように、テープの外側に配置する。
その後、オブジェクトリングに触れないように、リングの内側にペットボトルを置く。
図6のように真上から見てオブジェクトリングが完全に覆いかぶさるようにする。
斜めから見ると図7のようになる。

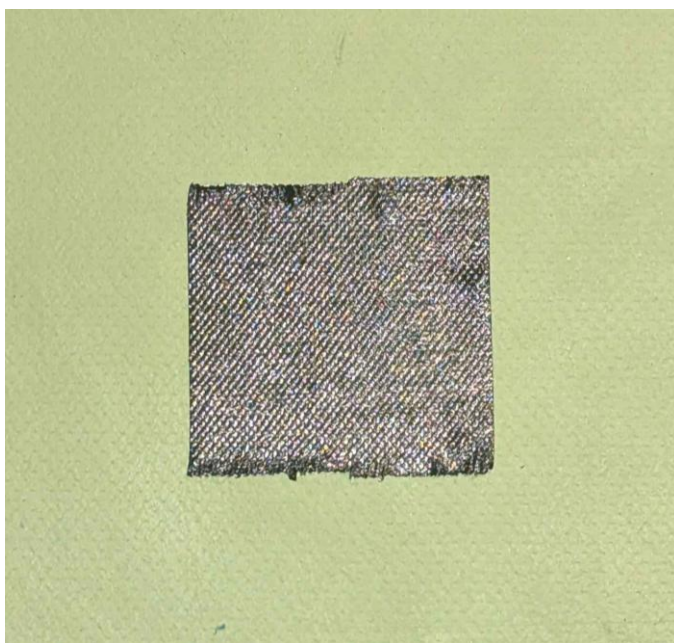


図 4

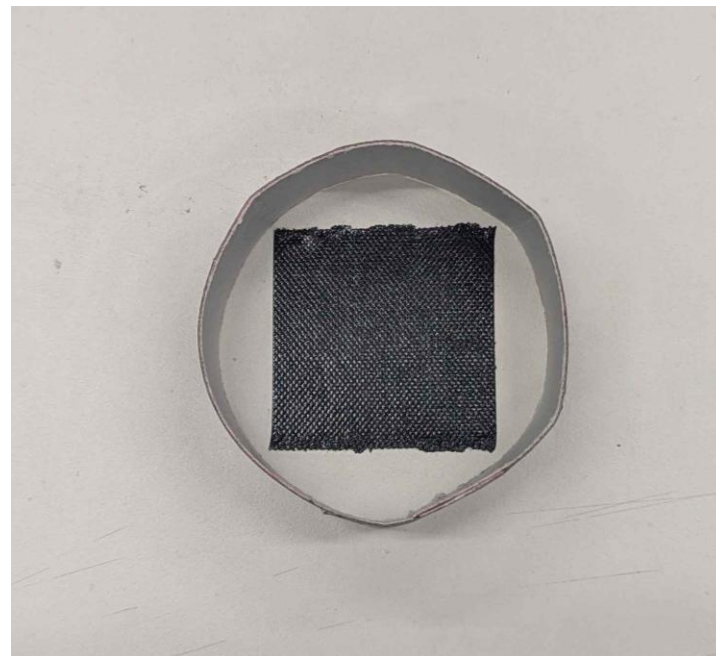


図 5



図 6



図 7